

三菱食品株式会社
2025年3月期
第3四半期決算説明資料

2025年2月4日



2025年3月期 第3四半期業績ハイライト

1

- 期初に公表した通期業績予想の達成に向けて順調に進捗
- 「売上高」「経常利益」は、卸売事業における取引が堅調に推移し増収・増益
- 「四半期純利益」は、前年に計上した特別利益の反動減等により減益

売上高

1兆6,204億円

進捗率: 76.1%

経常利益

258億円

進捗率: 78.2%

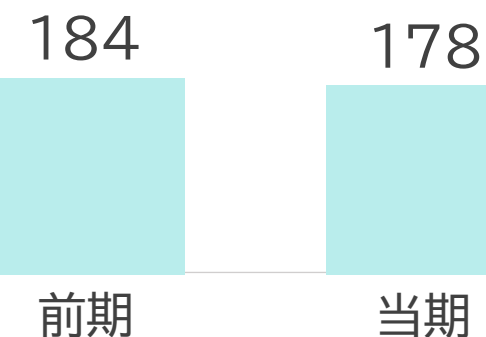
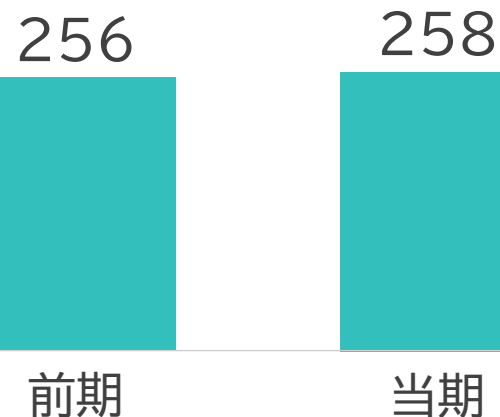
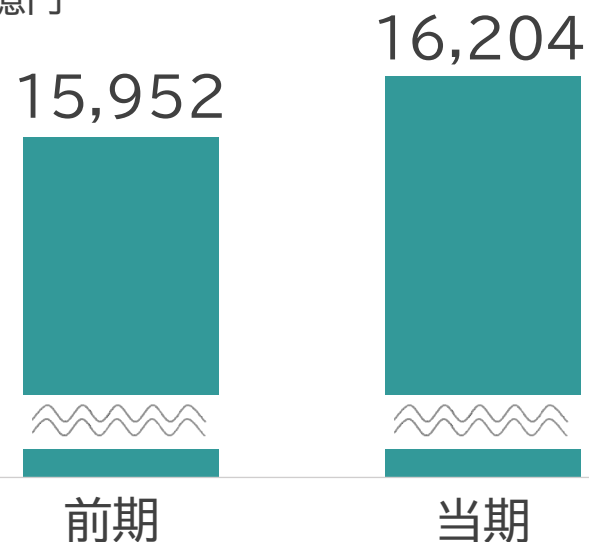
四半期純利益

178億円

進捗率: 78.2%

単位: 億円

*進捗率: 通期業績予想に対する進捗



連結業績(前期比)

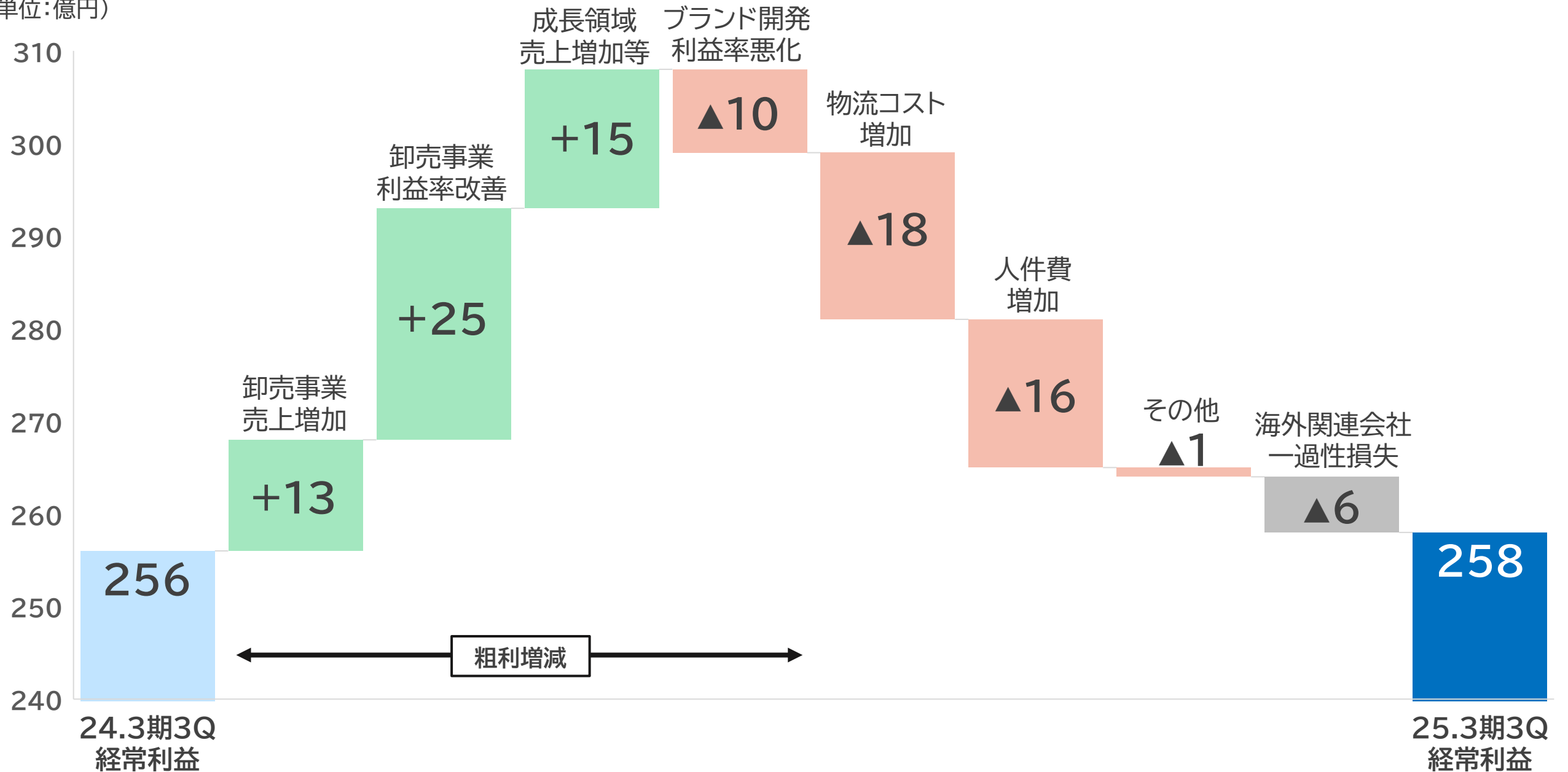
◆売上高増加や採算性の向上による売上総利益の増加額が物流費・人件費等の販管費の増加額を上回り、「営業利益」「経常利益」は前期比増加

単位:億円	24.3期 第3四半期	25.3期 第3四半期	前期比増減		25.3期 通期	
			額	率 (%)	業績予想	進捗率 (%)
売上高	15,952	16,204	251	1.6	21,300	76.1
売上総利益	1,133	1,175	43	3.8	1,549	75.9
販管費	▲892	▲929	▲38	▲4.3		
物流費	▲442	▲460	▲18	▲4.0		
人件費	▲275	▲291	▲16	▲5.8		
その他	▲174	▲178	▲4	▲2.5		
営業利益	241	246	5	1.9	315	77.9
経常利益	256	258	2	0.6	330	78.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	184	178	▲6	▲3.1	228	78.2

※ 25.3期の一部取引における表示方法の変更に伴い、24.3期実績を組替えております。

経常利益の増減要因(前期比)

(単位:億円)



セグメント別業績

◆「卸売事業」は、CVSやディスカウントストアとの取引が堅調に推移、売上高増加や採算性向上による粗利増がコスト増を吸収し経常利益は増益

◆「ブランド開発事業」は、輸入商品在庫の一部処分販売発生等もあり減益

単位:億円	売上高				経常利益			
	24.3期 第3四半期	25.3期 第3四半期	増減額	増減率 (%)	24.3期 第3四半期	25.3期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
卸売事業	14,372	14,553	181	1.3	207	217	11	5.1
ブランド開発事業	241	245	4	1.6	11	0	▲10	▲99.2
物流事業	1,048	1,085	38	3.6	31	35	4	14.6
機能開発事業	292	321	29	9.9	21	17	▲4	▲20.3
DDマーケティング	16	19	2	15.1	4	3	▲1	▲19.1
海外	7	9	2	29.8	▲0	▲6	▲6	-
メーカーサポート	269	293	24	9.0	17	20	3	17.0
調整	-	-	-	-	▲12	▲11	1	10.0
合計	15,952	16,204	251	1.6	256	258	2	0.6

※ 25.3期より開示セグメントをカテゴリー別から事業領域別に変更し、開示する段階利益も営業利益から経常利益に変更しております。

※ 25.3期の一部取引における表示方法の変更に伴い、24.3期実績を組替えております。

商品カテゴリー別業績

◆「卸売事業」「ブランド開発事業」におけるカテゴリー別内訳(旧セグメント)は下表の通り

単位:億円	売上高				経常利益			
	24.3期 第3四半期	25.3期 第3四半期	増減額	増減率 (%)	24.3期 第3四半期	25.3期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
加工食品	4,669	4,655	▲13	▲0.3	52	54	2	3.9
低温食品	4,128	4,350	222	5.4	101	109	8	8.2
酒類	3,769	3,670	▲99	▲2.6	30	25	▲5	▲17.5
菓子	2,048	2,123	75	3.7	34	29	▲5	▲14.3
合計	14,613	14,798	185	1.3	217	217	0	0.0
卸売事業	14,372	14,553	181	1.3	207	217	11	5.1
ブランド開発事業	241	245	4	1.6	11	0	▲10	▲99.2

品種別売上高

◆「菓子類」は、CVSやディスカウントストア等を中心に取引が伸長したことにより増収

◆「冷凍・チルド食品類」は、ドラッグストアやCVS等を中心に取引が伸長したことにより増収

単位:億円	24.3期 第3四半期		25.3期 第3四半期		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
缶詰・調味料類	1,835	11.5	1,838	11.3	3	0.2
麺・乾物類	1,117	7.1	1,117	6.9	0	0.0
嗜好品・飲料類	1,743	10.9	1,770	10.9	28	1.6
菓子類	2,137	13.4	2,217	13.7	80	3.7
冷凍・チルド食品類	3,878	24.3	4,053	25.0	176	4.5
ビール類	2,028	12.7	1,954	12.1	▲74	▲3.6
その他酒類	1,647	10.3	1,633	10.1	▲14	▲0.8
その他	1,567	9.8	1,621	10.0	53	3.4
合計	15,952	100.0	16,204	100.0	251	1.6

※ 25.3期の一部取引における表示方法の変更に伴い、24.3期実績を組替えております。

業態別売上高

- ◆「CVS」は、インバウンドを含めた人流拡大の影響等により増収
- ◆「その他直販」は、主にディスカウントストアとの取引が伸長したことにより増収

単位: 億円	24.3期 第3四半期		25.3期 第3四半期		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
卸売	1,488	9.3	1,513	9.3	25	1.7
SM	7,253	45.5	7,185	44.3	▲67	▲0.9
CVS	2,970	18.6	3,101	19.2	130	4.4
ドラッグストア	1,311	8.2	1,323	8.2	12	0.9
ユーザー (注1)	496	3.1	515	3.2	20	4.0
その他直販 (注2)	1,943	12.2	2,026	12.5	83	4.3
メーカー・他	492	3.1	541	3.3	49	10.0
合計	15,952	100.0	16,204	100.0	251	1.6

(注)1. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。

2. その他直販はディスカウントストア・EC事業者・ホームセンター・百貨店等であります。

※ 25.3期の表示方法の変更及び業態区分の一部見直しに伴い、24.3期実績を組替えております。

トピックス

株式会社PALTACとの物流における協働取り組みを始動

中間流通における、「食品」業界・「日用品等」業界のリーディングカンパニーである両社が、垣根を超えて物流効率化を図ることで、国内物流業界の持続可能性を高める

物流の経営資源を両社で共同活用し、
サプライチェーン・物流網の融合に挑戦



4つの協業テーマ

- ✓ 既存物流拠点の活用
- ✓ 共同配送の推進
- ✓ 共同物流センターの検討
- ✓ 物流DXの共同研究

APPENDIX

APPENDIX:セグメント説明

卸売事業

仕入先 約6,500社、得意先 約3,000社をつなぐ、食のサプライチェーン全体の最適化・効率化を支えるHUB機能

サプライチェーンの強靱化を推進すると共に、盤石な収益基盤として更なる成長を目指す

ブランド開発事業

多様化する国内市場のニーズに即したオリジナル商品の開発、及び海外輸入ブランドの調達機能

自社オリジナル商品、海外輸入商品の販売を通じた、高い利益率の獲得を目指す

物流事業

共同配送・得意先専用物流センターの運営受託、及び上流物流(メーカーの運べないリスクに対する引き取り物流等)といった3PL機能

更なる物流効率化、同業他社や非食品分野の顧客との協業により、規模感のある事業への成長を目指す

機能開発事業

DDマーケティング

当社の保有するビッグデータや生活者理解のノウハウを活かした広告・販促効果の最大化を図る機能

海外

「日本食文化の輸出」をテーマに製造・卸売・小売・外食を問わない海外事業の展開、及び本邦パートナーの輸出拡大や海外展開支援機能

メーカーサポート

メーカーへの原料資材供給、営業代行、代理店取引等のメーカー支援機能

当社機能の高付加価値化による収益確立を目指す

APPENDIX: 四半期業績

単位: 億円			24.3期				25.3期			
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売	上	高	5,128	5,347	5,478	4,916	5,221	5,372	5,611	
売	上	総利益	354	377	402	366	369	386	420	
販	管	費	▲ 295	▲ 299	▲ 298	▲ 311	▲ 307	▲ 308	▲ 314	
営	業	利益	58	78	104	54	61	78	106	
経	常	利益	66	81	110	58	63	81	114	
純	利	益	46	56	83	42	44	56	78	
売上対比率	売	上	-	-	-	-	-	-	-	
	売	上	6.90%	7.05%	7.34%	7.44%	7.06%	7.18%	7.49%	
	販	管	▲ 5.76%	▲ 5.59%	▲ 5.43%	▲ 6.33%	▲ 5.89%	▲ 5.73%	▲ 5.60%	
	営	業	1.14%	1.46%	1.90%	1.11%	1.17%	1.46%	1.89%	
	経	常	1.28%	1.51%	2.00%	1.17%	1.20%	1.51%	2.03%	
	純	利	0.89%	1.05%	1.51%	0.85%	0.84%	1.05%	1.39%	

APPENDIX: 四半期業績(セグメント・カテゴリー別)

単位: 億円		24.3期				25.3期			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
セグメント別	売上高	卸売事業	4,621	4,823	4,928	4,405	4,685	4,839	5,029
		ブランド開発事業	74	71	97	83	75	72	98
		物流事業	341	350	357	334	352	363	371
		機能開発事業	92	102	97	94	109	98	113
		合計	5,128	5,347	5,478	4,916	5,221	5,372	5,611
	経常利益	卸売事業	56	66	85	54	56	72	90
		ブランド開発事業	▲ 1	4	7	2	0	▲ 4	4
		物流事業	10	7	14	▲ 0	9	10	16
		機能開発事業	5	8	8	5	1	7	8
		調整	▲ 4	▲ 4	▲ 4	▲ 4	▲ 3	▲ 4	▲ 4
カテゴリー別	売上高	加工食品	1,477	1,543	1,648	1,427	1,483	1,535	1,637
		低温食品	1,314	1,436	1,377	1,243	1,376	1,508	1,466
		酒類	1,220	1,299	1,250	1,079	1,197	1,225	1,248
		菓子	684	616	748	740	704	643	776
		合計	4,694	4,894	5,024	4,488	4,760	4,911	5,127
	経常利益	加工食品	13	17	22	12	12	17	25
		低温食品	28	35	37	20	30	38	40
		酒類	7	8	15	9	6	8	11
		菓子	6	11	17	16	8	4	17
		合計	55	71	92	57	56	68	94

※カテゴリー別は、「卸売事業」と「ブランド開発事業」の合算値

APPENDIX: ケース単価推移

(単位:円)

合計	上期平均	3Q累計平均	年平均
2023年度	2,965	3,041	3,069
2024年度	3,058	3,144	
増減率	3.12%	3.39%	

加工食品	上期平均	3Q累計平均	年平均
2023年度	2,491	2,558	2,583
2024年度	2,548	2,628	
増減率	2.28%	2.71%	

冷食+アイス	上期平均	3Q累計平均	年平均
2023年度	4,058	4,305	4,447
2024年度	4,117	4,368	
増減率	1.45%	1.45%	

酒類	上期平均	3Q累計平均	年平均
2023年度	3,502	3,556	3,575
2024年度	3,599	3,634	
増減率	2.79%	2.20%	

菓子	上期平均	3Q累計平均	年平均
2023年度	2,560	2,618	2,632
2024年度	2,718	2,789	
増減率	6.16%	6.55%	



- 本資料は、弊社が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成されていますが、明示、黙示に関わらず内容の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容は、一般的な事項を記載したものであり、記載の内容に従って、お客様が実際に実務を遂行された場合、その期待される効果等が得られないリスクがございます。
- ご検討に際し、今後の制度改正の動きに加え、具体的な実務動向や法解釈の動き、及びお客様の個別の状況等に十分ご留意いただき、また、税務・会計・法務等に係る事項については、所轄の税務署や、弁護士、公認会計士、税理士等の専門家にご相談の上、お客様の最終判断をもってご対応いただきますよう、お願い申し上げます。

IR室 E-mail: ir_7451@mitsubishi-shokuhin.com

決算に関するご質問、IR面談のご依頼はこちらまでお問い合わせください